☆第一次・第二次評価
（指定管理者・施設主管課による評価）

指定管理者評価シート(1/5)

令和6年度前期
施設名：地区図書館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	評価理由 （今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】） （今回の評価がCである理由【指C】【市C】） （対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】）
Ⅰ 市民サービスの向上（共通	1 基本的な考え方・姿勢	○指定管理業務に係る基本的な考え方や職員の姿勢が、当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定管理者像に合致しているか。	○当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定管理者像が配置職員に共有されている。 ○現場責任者及び配置職員の考え方や姿勢が、本市の意図するものとなっている。	A	A	
		○団体等の持つノウハウ等の強みを活かした意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見られるか。	○利用者等のニーズの把握、利用拡大に向けた取り組み、効率化の推進などに係る創意工夫への積極的な姿勢が見られる。 ○当初の提案やその他具体的な目標等があり、そのための取組を行っていく姿勢が見られる。			
	2 サービス向上及び利用促進の取組	○サービス向上及び利用促進、地域の活性化等、発展性のある独創的で魅力的な取組が行われているか。	○指定管理者の独創的で魅力的な取り組みが、利用者サービスの向上や利用者増、地域活性化などにつながっている。 ○自主事業の開催に当たっては、利用者ニーズを反映させ、事業目的や効果を明確にし、より多くの利用者に参加してもらえるよう、各種工夫を行っており、また、対象別に多様な事業を実施している。	S	S	（3館共通） ・自館以外の図書を置く「○○図書館の本コーナー」を地区館3館に常設した。 【ランクアップした理由】 【指】 図書の有効活用と、利用者アンケート等で散見される「新しい本が少ない」というご意見に応えるべく、自館以外の図書を置くコーナーを地区館3館に設置した。書架コードを新しく設定し、他館の本がどこの館に所在しているかが分かるように工夫した。各館目につきやすい場所に設置し、貸出もされていることからSとした。 【市】 ・利用者ニーズを把握し、それを反映しようとする姿勢がみられる。市内他館の図書を置くコーナーの設置などの大きなものから、書架表示の更新や、閲覧・学習席のレイアウト変更、書架への配架の工夫など小さなものまで、指定管理者制度導入以降これまで蓄積されたニーズを反映し、地区図書館のサービスは向上している。 ・SNSを積極的に活用し、利用者への情報提供を効果的に行っている。
		○適切な利用者への接客・応対、社会的弱者への配慮や、利用者の公平、公正な利用が確保されているか。	○施設のサービス水準を確保するため、受付・電話対応・その他接客マナーなど、標準的な業務実施手順や注意点等をマニュアル化している。 ○利用者、特に社会的弱者にとって公平・公正に利用できるマニュアル及びシステムを構築・運用している。 ○職員の意見を取り入れながら、標準的な業務実施手順等をスタッフミーティング等において定期的に見直している。 ○わかりやすい言葉づかいや図、イラスト、写真等を活用し、誰にでもわかる工夫をして情報提供している。			
		○利用者のニーズ等を収集し、それを反映する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切な対応と未然防止・再発防止に向けた具体的な方策がとられているか。	○利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、課題への対応策を講じて改善するなどの工夫が見られる。 ○苦情処理の適切な対応が可能なマニュアルや体制が整備されている。 ○利用者が苦情や意見を述べやすいよう、窓口（苦情係、ご意見箱の設置、HPでの受付等）を設置している。 ○利用者からの苦情や意見等が寄せられた際には、内容を記録し、対応策を実施している。 ○日々の利用実績を記録し、定期的（週単位、月単位等）に集計している。 ○利用実績、稼働率の推移を分析し、これを踏まえた改善に取り組んでいる。			
		○ホームページや広報紙等を活用し、積極的な情報提供による利便性の向上や利用者増に向けた取組を行っているか。	○誰にでもわかりやすいホームページや広報紙等となっている。 ○潜在的な利用者の掘り起こしや利用拡大に向けたアピールができるホームページや広報紙等となっている。 ○施設内の掲示板等を有効に活用して、利用者にわかりやすく情報提供をしている。			
	3 施設の維持管理等	○施設及び設備の保守点検、備品等の管理、施設清掃・植栽等の維持管理、計画的な修繕等、法令等に基づいた適正な業務計画となっており、実行をしているか。	○事業計画書等に沿って、建物・設備・備品・樹木等が適切に管理されている。 ○利用者が安全に利用できる状態が保たれている。 ○施設内及び敷地内の美観が保たれている。 ○市所有の備品と指定管理者所有の備品が区別されており、備品台帳に記された備品がすべて揃っている。 ○トイレ等の衛生状態が保たれている。 ○日常的、定期的に施設内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するように努めている。 ○鍵の管理方法が明確になっており、適切に管理している。	A	A	
		○廃棄物の処理方法と合わせて、省エネルギー対策やごみ減量への取組等、環境法令を踏まえた環境負荷低減への取組が行われているか。	○廃棄物の処理について、適正な考え方や取り扱いとなっている。 ○環境法令を踏まえ、省エネルギー対策やごみ減量に向けた実効性のある取り組みが行われている。			
		○業務の一部を外部委託する場合、業務の実施や履行確認等、管理指導の体制が整っているか。	○外部への委託について、契約書等の書類があり、契約内容が確認できる。 ○外部委託先からの業務報告が書面にて定期的に行われており、履行確認ができる。 ○委託先の現場代理人等に対し、必要に応じて指導ができる体制にある。			
	4 緊急時の対応等	○緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確となっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。	○事故発生時及び災害時の連絡体制や対応体制がマニュアル等で明確になっている。 ○事故発生時及び災害時のマニュアル等に基づき、防災訓練等を実施している。また、事故対応及び災害対応に係る研修や事例研究等を実施している。 ○発生した事故又は災害等の内容及び対応等について記録を作成している。	A	A	
		○安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。	○事故防止のチェックリストや事故対応マニュアル等を整備し、職員に周知徹底がされている。また、事故防止策の研修や事例研究等を実施している。 ○当該施設の管理に係る法令・基準等を職員が把握している。 ○管理瑕疵・過失に起因する事故は発生していない。 ○金銭取り扱いのマニュアル等を作成し、職員間で情報の共有化を図り、事故防止に努めている。			

☆第一次・第二次評価
（指定管理者・施設主管課による評価）

指定管理者評価シート(2/5)

令和6年度前期
施設名：地区図書館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	評価理由 （今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】） （今回の評価がCである理由【指C】【市C】） （対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】）
通項目）	5　職員配置等	〇実施業務に即した職員配置等（人数、専門職、勤務体制、責任体制）であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。	〇事業計画書・水準に沿った職員体制であり、管理職は、他の職員の業務状況を適切に把握している。 〇報告書等で職員配置等を確認することができる。	S	S	【指】 【職員体制】 各館で当初の人員配置計画に基づいた人員配置をしており、安定した運営を行った。責任者は全員有資格者で、図書館勤務経験も1年以上の人員を配置している。入社後の司書資格取得についてもシフトの調整や終了後のお祝い金制度などフォロー体制を敷いている。 【職員の研修について】 （3館共通） ・弊社テクニカルサポート室を講師に迎えブックトークについての研修を実施。 ・地区館業務責任者ミーティングを実施し、地区館間での情報共有や各担当者同士との意見交換などの機会も設けた。 （北） 市町村図書館等職員研修や生涯学習指導者研修等、積極的に館外の研修に参加し、読書活動の実践について学習した。また館内では、レファレンス研修やおはなし会研修を実施し、日常業務の研鑽に努めた。 （西） 市町村図書館等職員研修＜基礎＞、生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」、障害者サービス担当職員養成講座（入門）、心のバリアフリー推進員養成講座（動画視聴）、認知症サポーター養成講座といった外部研修に積極的に参加した。内部では、社内児童部会への参加、おはなし会や接遇などサービス向上にかかる研修を実施した。 （南） 2024年4月からの事業者の合理的配慮義務化に伴い今年度は障害者サービスに関する研修に積極参加する方針とした。 ・2024年度障害者サービス担当職員養成講座（入門）（業務責任者1名参加） ・令和6年度　心のバリアフリー推進員　養成講座（第2部）（館長参加） ・令和6年度　心のバリアフリー推進員　養成講座（第1部）動画配信をスタッフ全員視聴 ・社内e-learning著作権研修をスタッフ全員に実施 ・弊社テクニカルサポート室が行っている、「よみきかせの基本」研修（児童担当1名参加） 【市】 ・毎月、内外の研修に複数回参加している他、トラブルがあった際などは、中央図書館及び地区図書館3館で速やかに共有するなど、利用者への接遇改善、向上に向けて日々取り組んでいる。 ・また、「おはなし会」「レファレンス」「障害者サービス」など、各館力を注ぐ事業や課題を検討し、それに沿った研修に参加するなど、図書館に求められるサービスの向上に努めている。
		〇従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。	〇常勤・非常勤職員に関わらず、職員の研修計画を作成し、内部研修を実施しており、外部研修や勉強会に参加できる環境を整えている。また、必要に応じて、職員の専門技術を高めるため、事例検討会、勉強会や意見交換会等を開催している。			
	6　その他	〇市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。	〇協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれるなど、責任者間での十分な連絡が行われている。 〇地域住民、町内会、自治会等の地域の団体、関係機関などの関係団体との連携を図るため、情報交換を行っている。 〇地域住民の意見・要望を把握している。 〇人的資源や場所の提供を通し、各種地域活動へ参加している。 【共同事業体が対象】 〇共同事業体団体間の連絡体制が確立され、連絡方法の手順及び頻度が具体的に示されている。	S	S	【指】 【人的資源・場所の提供・地域活動への参加、情報交換】 （北） ・地域のサークル等に館内スペースで作品を展示してもらうなどし、地域に親しまれる図書館運営を行った。 ・地域の小学校の協力で、児童のおすすめするファンタジーの本を、児童の紹介文とあわせて展示した。 ・地域の放課後児童クラブに訪問し、図書館ガイダンスを実施した。 （西） ・地域で活躍する方を講師とした「夏休み親子工作会」を実施した。 ・西部福祉会館からの依頼を受け「図書館活用講座」を実施した。 ・今回で3回目となる、地域で活躍する方を講師とした「健康教室」を実施した。 ・近隣公民館、山城子どもの家との相互の広報協力を行った。 ・近隣小学校の学校関係者からの申し入れを受け、「ミニ・ビブリオバトル」の見学受入を行った。 ・リサイクル図書を地域施設・団体に提供した。（4団体に100冊） （南） ・南部福祉会館との共催で「大人のおはなし会」を実施。 ・地域で活動しているなぎさ絵手紙の会より借り受けた絵手紙作品を展示。 ・花水子育てサロン主催の「花水ブックフェスティバル」に参加しリサイクル図書の配布とおはなし会を行った（88冊配布） ・リサイクル図書を地域団体に提供した。（5団体に180冊） 【市】 ・「地域に根付いた図書館」を目指して、各館地域や施設の特性を活かし、積極的に公民館やボランティアサークルなどの地域団体や近隣の学校などと連携を図った。既存事業を継続した他、アンケートなどから利用者の要望を聞きとり反映するなど、新たな事業も実施した。 ・指定管理導入3年目を迎え、地域の団体から協力依頼がくるなど、日頃からの連携を意識した取り組みの成果が表れていると感じる。 ・市との定例会や日々の連絡を通して、サービスの向上に向けて、情報共有や課題解決に取り組んだ。管理者からも問題提起や提案してもらうことで、より良い図書館サービスにつながっていると感じる。
		〇管理運営にあたり、関係法令等の遵守、情報公開及び個人情報保護に対する適切な運用方針が示されており、実行されているか。	〇各種規程及び体制が整備されている。 〇制度を理解し、法令を遵守している。また、法令遵守に対する職員の意識啓発に向けた取り組みを行っている。 〇個人情報の取扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。 〇個人情報を収集する際は必要な範囲内で適切な手段で収集し、目的以外に使用していない。 〇情報公開に関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。			
Ⅱ　経費の節減等（共通項目）	1　適正な経理事務等	〇当該年度の経費の積算や執行に係る考え方が具体的に示され、適正な経理処理が見込めるか。	〇収支計画の積算根拠が明確である。 〇当該施設の指定管理料に係る会計処理と他の事業（自主事業等）の会計処理が分けられている。 〇経理を担当する職員を配置している。	A	A	
		〇当該期間の収支は、事業計画等に基づく積算の根拠が明確に示され、無理や漏れ等のない確実なものであるか。	〇事業計画と収支計画の関係が明確である。 〇指定管理業務用の通帳や印鑑などが適切に管理されている。 〇収支決算書に記載されている費目に関し、伝票等が存在する。 〇適切な経理書類が作成されている。 〇内部もしくは外部による監査体制がとられている。 〇決算の収支が極端な赤字でない。			
	2　コスト縮減等	〇民間のノウハウが発揮され、創意工夫による効率的な管理運営の取組や、コスト縮減に向けた取り組みが行われ、高い実効性が認められるか。	〇民間ノウハウを活かした経費節減及び効率化への取り組みを実施しており、成果をあげている。 〇利用者の増加に向けた創意工夫等の取り組みが見られる。 【利用料金制の場合】 〇利用料金収入の目標値を明確にし、目標に向けた取り組みを実施している。	A	A	

☆第一次・第二次評価
（指定管理者・施設主管課による評価）

指定管理者評価シート(3/5)

令和6年度前期
施設名：地区図書館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	評価理由 （今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】） （今回の評価がCである理由【指C】【市C】） （対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】）
個別項目	1 資料収集	〇図書館の基本サービスである資料収集を業務内容説明書に沿って指定管理者のノウハウを活用しながら実施し、魅力的な資料の収集につなげているか。	〇資料収集の予算配分、目的及び目標を明確にし、計画どおり資料を収集しているか。 〇ニーズ把握など民間ノウハウを駆使した収集をしているか。 〇市民の「お役立ち図書館」として、生活や課題解決に役立つ資料を積極的に収集しているか。 〇費用対効果を意識し、継続利用が見込める需要の高い資料の複本購入をおこなっているか。	A	A	
	2 蔵書管理	〇蔵書の提供・管理を指定管理者のノウハウを活用しながら計画的に実施しているか。	〇魅力的な書架となるよう、サインや書架配置等の改善を定期的に実施しているか。 〇各館の収納可能冊数に見合うよう、必要な除籍を計画的に実施しているか。 〇書架状況を把握・分析し、バランスの取れた蔵書となるよう計画を立てているか。	S	S	【指】 （3館共通） ・図書の有効活用と利用者アンケート等で散見される「新しい本が少ない」というご意見に応えるべく、自館以外の図書を置くコーナーを3館に設置した。南図書館休館を見据え、同コーナーの充実と周知を行っていく。 （北） ・一般書については、健康や家庭の分野の棚において、利用者に分かりやすい言葉で書架表示を新たに作り、親しみやすい書架づくりに努めた。 ・児童書については、ピクトグラム・英語併記による書架表示を作成し、誰にでも分かりやすいサインへの見直しを行った。 （西） ・計画的な書庫入れや除籍、見出しの更新を実施した。 ・がん情報ギフトを活用した「がん情報コーナー」を設置し、関連資料の棚には、コーナーへの案内図を付記した見出しを明示した。 ・ビデオ資料の除籍などで空いた書架を進路関係資料用（YAコーナーの一画）に転用。 （南） ・計画的に除籍を実施。空いているスペースに面出しした図書を置くなど、手に取りやすい書架となるよう工夫した。 【市】 ・利用者アンケートでのご意見も反映し、市内他の図書館の図書を置くコーナーを設置するなど、限られた予算の中で利用者サービスの向上に努める工夫があった。 ・毎月展示を更新するなど、常に利用者の目を引くような展示や、資料の見せ方などを各館が考え、その結果、居心地の良い空間を作り出している。 ・各館除籍計画に沿って、継続的に除籍を実施し、図書館の安全管理に努めている。 ・また、除籍によって大きく空いたスペースの活用や、レイアウト変更、表示の更新等、既存のものの維持管理だけでなく、利用者目線に立った工夫を常に心がける姿勢があった。
	3 読書活動推進事業	〇読書普及や図書館利用を促進するため、各図書館内で積極的に事業を実施し、成果を上げているか。	〇平塚市子ども読書推進計画（第4次）に沿った、年齢に配慮したイベントを定期的に開催しているか。 〇図書館の役割につなげて市民の暮らしや課題解決に役立つイベントを積極的に開催しているか。	S	S	【指】 【児童を対象とした読書推進イベント】 （北） ・子どもの読書週間にあわせて、「ブラインドブック」「めざせみんなで5000冊読もう」を実施した。 ・夏休み期間に小中学生を対象に「絵手紙教室」を開催した。 ・平和月間にあわせて読み語り会「絵本が語る平和の尊さ」を開催した。 （西） ・子どもの読書週間にあわせて「にしとしょかんクイズ」を実施した。 ・小学生以下を対象に、3回目の開催となる「ぬいぐるみおとまり会」を実施した。 ・夏休み期間に親子を対象とした「夏休み親子工作会」を実施した。 ・小学3～6年生を対象に「ミニ・ビブリオバトル」を実施した。 （南） ・小学生・中学生・高校生を対象に「こどもの読書週間　南図書館のおすすめ本しょうかいPOPをつくろう！」を実施した。 ・小学生を対象に南図書館夏休みマジックショーを実施。マジックショー（湘南ひらつかマジシャンズ）とブックトーク（図書館職員）を行った。 【図書館の役割、市民の課題解決のイベント】 （北） ・暮らしに役立つイベントとして、「日本茶講座」を開催した。 ・地域を学ぶための講座として、「歴史講座　神田地区周辺の遺跡巡り」を開催した。 （西） ・西部福祉会館と共催し「図書館活用講座」を実施。 ・地域で活躍する方を講師とした「健康教室」を実施。 （南） ・南部福祉会館と共催し「大人のおはなし会」を実施。 ・「押し花・押し野菜でブックカバーを作ろう！」を実施 【市】 既存の事業を継続した他、新規自業も実施。利用者の興味を引くような多世代向けのイベントを多く実施した。また、イベント終了時にはアンケートを実施するなど、利用者のニーズを探り、実現する、改善する姿勢が感じられた。イベント実施時に関連書籍を置くなど、図書館ならではの方法で、多くの方に本に触れてもらう機会を提供した結果、来館者数の増加につながっている。

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	評価理由（今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】）（今回の評価がCである理由【指C】【市C】）（対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】）
4　学校等支援・学校連携	○学校や団体等に対して、図書資料を活用した支援や連携のサービスを積極的にアピールし、展開しているか。	○地域団体等からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、受入しているか。 ○地域団体等との協働事業を提案、開催するなど、地域に頼られる図書館として発信しているか。	A	A	
5　地域連携・ボランティア	○地域団体、社会教育機関、民間団体等と協力・連携し、地区図書館を地域住民の学びと子どもの育ちの支援につなげているか。	○地域団体等からの依頼、要望に対し、真摯に対応し、受入しているか。 ○地域団体等との協働事業を提案、開催するなど、地域に頼られる図書館として発信しているか。	S	S	【指】 【地域連携】 （北） ・イベントの実施にあたっては、公民館と共催したり、地域の人材に講師を務めていただいたりし、地域とのつながりを意識して取り組んだ。 ・地域のサークル等に館内スペースで作品を展示してもらうなどし、地域に親しまれる図書館運営を行った。 （西） ・西部福祉会館との共催で「図書館活用講座」を実施。 ・地域で活躍される方を講師とした「夏休み親子工作会」、「健康教室」を実施した。 ・公民館等と広報の相互協力を行った。 ・学校関係者等からの事業見学依頼を受入した。 ・リサイクル資料を地域施設・団体に提供した（4団体に100冊）。 （南） ・南部福祉会館との共催で「大人のおはなし会」を実施。 ・地域で活動しているなぎさ絵手紙の会より借り受けた絵手紙作品を展示。 ・花水子育てサロン主催の「花水ブックフェスティバル」に参加しリサイクル図書の配布とおはなし会を行った（88冊配布） ・リサイクル図書を地域団体に提供した。（5団体に180冊）南） 【ボランティア】 （3館共通） 書架整理、返本を行うボランティアを募集し夏休み期間中に活動を行った。 【市】 ・地域住民の学びと子どもの育ちを支援させる場としての図書館を目指し、地域団体の展示を図書館で継続して行ったり、地域の行事に参加したり、連携したイベントを実施するなど、積極的に図書館をPRした。また、今年度から夏休み期間中に各館ボランティアを募集するなど、図書館の仕事を知ってもらう機会を多く提供した。その継続的な活動の成果として、少しずつ地域に「図書館」が浸透してきている。

☆第一次・第二次評価
（指定管理者・施設主管課による評価）

指定管理者評価シート(5/5)

令和6年度前期
施設名：地区図書館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価 指定管理者	評価 市	評価理由 （今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】） （今回の評価がCである理由【指C】【市C】） （対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】）
コメント	・アピールしたいポイント ・課題または今後の改善点など （※指定管理者が記入）	【指】 【全館共通事項】 引き続き職員配置も安定し、職員研修の充実や外部研修への参加、イベント実施、外部団体との連携などの取り組みを拡大させることができた。弊社テクニカルサポート室の講師によるブックトークの研修を実施し、各館の児童担当者が参加した。その他、地区館業務責任者ミーティングを実施し、地区館間での情報共有や各担当者同士との意見交換などの機会も設けた。 3年目となった夏休み期間中の月曜日開館も利用者への周知も広まってきており、市民のニーズに合わせたサービスの拡大につながった。 イベントについては各館、地域の施設・団体と共催・協力した事業を実施し、各イベントとも、利用者からの反響は大きく、アンケートでも高評価をいただくことができている。 また、蔵書管理に関しても作成した資料収集・除籍計画にもとづいて資料を選定し、計画に照らし合わせてニーズに即した資料を購入した。3館で定期的に選書会議（ZOOM）を継続実施し、意見交換・情報共有を行った。また、図書の有効活用と、利用者アンケート等で散見される「新しい本が少ない」というご意見に応えるべく、自館以外の図書を置くコーナーを地区館3館に設置し、限られた資料の有効活用を図っている。 【北館】 ・児童を対象にしたイベントとして「ブラインドブック」「めざせみんなで5000冊読もう」「絵手紙教室」「読み語り会　絵本が語る平和の尊さ」を実施した。 ・一般向けには・暮らしに役立つイベントとして、神田公民館と共催で「日本茶講座」、地域を学ぶための講座として、「歴史講座　神田地区周辺の遺跡巡り」を開催した。 ・小学生以上を対象に「夏休みちょこっとボランティア」を初めて受入れた。 ・書架表示の作成や、書架の下段にある本のレイアウトを変えるなどし、利用者が本を探しやすく、魅力のある書架になるように取り組んだ。 ・新着本を新着コーナーに配架する期間を長くし、「西・南図書館の本コーナー」も新設することで、利用者が新しい本と出合う機会を拡充した。 ・館内でレファレンス研修やブックトーク研修等を開催し、利用者や学校等の要望に応えられるよう、スタッフの資質向上に努めた。 （課題） ・「ちょこっとボランティア」「絵手紙教室」などのイベントに中学生の参加があったが、小学生に比べると中高生の利用が少ないため、引き続き中学生・高校生に対してのPRの必要を感じている。 【西館】 ・児童を対象にした事業として「にしとしょかんクイズ」「ぬいぐるみおとまり会」「夏休み親子工作会」「ミニ・ビブリオバトル」を実施した。 ・一般向けのイベントとして、西部福祉会館と共催した「図書館活用講座」、地域で活躍する方を講師とした「健康教室」を実施した。 ・他の地区図書館の資料を展示する「北・南図書館の本コーナー」やがん情報ギフトを活用した「がん情報コーナー」を設置し、魅力的で利用者が手に取りやすい書架づくりを実施し、利用促進を図った。 ・継続的に行っている児童向けの各種事業による読書推進、一般向けの課題解決型講座などのほか、初めての事業として、「夏休み中高生ボランティア」を実施した。近隣の中高生等が館内ポスターや友人からの紹介などをきっかけに参加され、積極的に活動していただき、アンケートでは好評をいただいた。 ・夏休み前に近隣の施設等へ一斉配布・周知した団体向けサービスのPRにより、一部の学校や学校司書から職場体験や授業支援、事業見学の依頼があり、図書館サービスのPRや連携強化につながった。 ・西部福祉会館と連携し、講師を派遣して講座を実施することで、普段図書館を利用されない方への周知や図書館事業のPRなどが実施できた。 ・継続課題であった団体貸出の登録を2件受付した。引き続き事業についてPRし、今後の利用促進を図る。 ・施設設備の改善として、老朽化した施設設備の更新、補修を実施し、来館者の利便性向上への対応に取り組んだ。 （課題） ・外部施設との連携により、継続課題である遠方利用者の利用促進や団体等との連携は一部達成したが、依然として課題である。引き続き、事業広報や外部施設との連携強化に向けて、取り組んで参りたい。 【南館】 ・読書推進事業として、児童向けに「こどもの読書週間　南図書館のおすすめ本しょうかいPOPをつくろう！」、大人向けには「大人のおはなし会」を実施した。 ・普段図書館を利用しない方にも図書館を知って利用してもらう機会を提供するべく、児童向けに「南図書館夏休みマジックショー」、一般向けに「押し花・押し野菜でブックカバーを作ろう！」を実施。マジックショーではマジックに関する本のブックトークを行い、どちらのイベント会場にも関連図書を展示して、図書に興味関心を持っていただけるよう工夫した。 ・来年度大規模改修で休館するため、地域の団体との連携を継続できるよう次の通り地域連携事業を積極的に実施した。南部福祉会館と共催した「大人のおはなし会」、花水子育てサロン主催の「花水ブックフェスティバル」への参加、地域で活動するなぎさ絵手紙の会と連携した「夏休み特集展示「なぎさ絵手紙の会作品展」」の実施、湘南ひらつかマジシャンズを実演者に迎えた「南図書館夏休みマジックショー」の実施、近隣の団体に積極的に呼びかけて、リサイクル図書の配布（「花水ブックフェスティバル」にて88冊、地域の5団体に180冊提供） ・初めての試みとして「夏休み南図書館ボランティア」を実施した。地区図書館共通で実施したボランティアであったが、対象ややり方など各館それぞれの利用状況を勘案して実施。当館は中学生、高校生、大学生、一般を対象に実施したところ、高校生の参加者から、高校生向けの職場体験に参加できる機会があってよかった等の感想をいただくなど好評であった。 ・資料の有効活用と図書館に寄せられる「目新しい本が少ない」という声に応えるべく、「北・西図書館の本コーナー」を設置し他の地区図書館所蔵図書を閲覧、貸出できるようにした。 （課題） ・継続の課題である学校連携について、近隣小学校の団体登録、団体貸出の実績を作ることができたが、実績数としてはまだ少ない。大規模改修を控えなかなか今後の連携をPRしにくい状況ではあるが、休館するからこそ休館までに支援できるリサイクル図書の配布等を主に行っていく。				
	・総括 （※市が記入）	【市】 指定管理導入３年目を迎えたが、継続的に、課題や利用者ニーズを検証しながら、利用者目線に立った書架づくりや展示など、居心地の良い空間づくりを心がけている。また、既存の事業だけでなく、新たな事業も積極的に実施しており、利用者からも好評をいただいている。既存の図書館としての概念だけにとらわれず、新たに挑戦する姿勢が利用者の増加につながっており、地区図書館のサービスは着実に向上している。団体貸出等、引き続き課題はあるが、地域との連携の機会は確実に増加しており、平塚市としてどのような地区図書館を目指すのか、管理者とも情報を共有しながら、検討していきたい。				

評価について	あった点
S	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
C	水準に未達の場合